

第 134 回 八大学工学関連研究科長等会議 議事録

日 時 平成 29 年 9 月 29 日 (金) 13:30～17:05

場 所 ホテル福岡ガーデンパレス 1F ガーデンホール

出席者 連合会会員等 82 名 (研究科長等、副研究科長等、運営委員、陪席)

議題等

1. 報告事項

- (1) 前回議事録確認
- (2) 平成 29 年度上半期活動報告
- (3) 文部科学省との意見交換会の開催報告 (4 回分)
- (4) EAJ 人材育成委員会への参加報告 (2 回分)
- (5) 提言に関する産業界との意見交換 (2 回分)
- (6) 第 5 回日英工学教育ワークショップ実施報告

2. 協議事項

- (1) 平成 29 年度博士フォーラムの実施計画について
- (2) 平成 29 年度八大学からの提言について
- (3) 工学系教育改革への今後の対応について

3. 講演会

講演 I 英進館株式会社 代表取締役社長 筒井 俊英 氏

講演 II 文部科学省大臣官房審議官 (高等教育局担当) 松尾 泰樹 氏

4. その他

- (1) 今後の予定について

配布資料一覧

- 資料 1 第 133 回八大学工学関連研究科長等会議議事録(案)
- 資料 2 平成 29 年度 上半期活動報告
- 資料 3 文部科学省との意見交換の実施について (5/18, 7/10, 8/9, 9/28 の 4 回)
- 資料 4 EAJ 人材育成委員会参加報告 (6/9, 9/7 の 2 回)
- 資料 5 八大学提言に関する JRIA との意見交換会実施報告 (5/6, 9/12 の 2 回)
- 資料 6 第 5 回 UK-Japan ワークショップ実施報告
- 資料 7 平成 29 年度博士フォーラム実施計画 (案)
- 資料 8 提言「工学系人材育成への企業の参画と支援 (案)」
- 資料 9 「工学教育の在り方に関する検討」関連資料 (参考)
- 資料 10 八大学工学系連合会の会長校・幹事校について (参考)
- 講演 I 資料 理工系人材のための高大接続 (塾の視点から)
- 講演 II 資料 工学系教育改革について

議 事 要 旨

開会の辞

新美会長から開会の挨拶があった。

オブザーバーの紹介

オブザーバーとして出席の一般社団法人研究産業・産業技術振興協会（JRIA）獅山有邦専務理事の紹介があった。

幹事校代表者挨拶

今回の幹事校である九州大学大学院工学研究院長の高松研究院長から挨拶があった。

議長選出

定款施行催促第4条第4項に従って幹事校代表者の高松九州大学大学院工学研究院長を議長に選出した。

日程説明及び配布資料確認

石原事務局長から、会議日程の説明及び配布資料の確認があった。

議 事

1. 報告事項

(1) 前回議事録確認（資料1）

資料1により、今春4月21日に東京にて開催した第133回八大学工学関連研究科長等会議議事録（案）を確認の上、承認した。

(2) 平成29年度上半期活動報告（資料2）

新美会長から資料2に基づき、春の常設会議以降の活動内容について報告があった。

(3) 文部科学省との意見交換会の開催報告（資料3）

新美会長から資料3に基づき、本年5月18日、7月10日、8月9日、9月28日に、文部科学省高等教育局専門教育課と八大学工学部長会議のメンバーで「大学における工学教育改革」をテーマとして意見交換を行ったことが報告された。文部科学省から提示されている「工学系教育改革」への対応については、後の協議事項(3)で取り上げることとした。

(4) EAJ人材育成委員会への参加報告（資料4）

高松議長から、本年6月9日開催の公益社団法人日本工学アカデミー（EAJ）人材育成委員会に八大学工学系連合会から5名の工学部長が参加し、八大学からの提言「我が国の産業競争力強化に工学教育が一層貢献するために一博士人材の確保とリーダー人材の育成について」（平成27年5月13日発表）をテーマに議論が行われたこと、および9月7日に文部科学省の松尾審議官を講師に「大学における工学教育の在り方」（本年6月に中間まとめが公表）に関する意見交換が行われたことが報告された。これらの委員会の議論の様様については、石原事務局長から資料4のメモを用い

て論点や議論の内容が報告された。

(5) 提言に関する産業界との意見交換（資料 5）

高松議長から資料 5 に基づき、一般社団法人研究産業・産業技術振興協会（JRIA）との間で、5 月 16 日に「我が国の発展を支える優秀な留学生人材の育成と定着—海外人材獲得の大競争時代へ向けて—」（平成 28 年度八大学工学系連合会提言）をテーマとして、また 9 月 12 日に平成 29 年度の提言「工学系人材育成への企業の参画と支援（素案）」をテーマとして意見交換を行ったこと、及びこれらの意見交換の内容要旨について報告された。また、阪大・工学研究科の田中研究科長から JRIA とは今後も具体的なテーマを設定し定期的に意見交換の場を設けることとなったことの報告があった。

ここで議題(4)と議題(5)をまとめて、八大学で育成する博士の人材像、これからの博士人材育成の在り方、人材育成における長期的視点の重要性などについて質疑応答が行われた。

(6) 第 5 回日英工学教育ワークショップ実施報告（資料 6）

東工大・工学院の岩附学院長から資料 6 に基づき、本年 9 月 7 日～9 日に英国グラスゴー大学にて実施された第 5 回日英工学教育ワークショップについて報告があった。また、次回（第 6 回）は、来年 9 月 3 日～5 日の日程で九州大学において開催されることのアナウンスがあった。なお、八大学工学系連合会は、協賛という形で引き続きこのワークショップ開催を支援することが報告された。

2. 協議事項

(1) 平成 29 年度博士フォーラムの実施計画について（資料 7）

今年度の幹事校・東北大学工学研究科の博士フォーラム分科会の琵琶主査に代わって、同研究科の服部運営委員から資料 7 に基づき、11 月 24 日に東北大学青葉山東キャンパスで開催予定の博士フォーラムの実施計画、加えて今回は文部科学省や JRIA にも参加依頼を行う旨の説明があった。続いて東北大学・滝澤工学研究科長から、後日正式に開催案内を送付するので各大学から参加者を派遣いただくよう依頼があった。

(2) 平成 29 年度八大学からの提言について（資料 8）

高松議長から、平成 29 年度の提言について運営委員会での検討経緯が報告され、続いて名大・工学研究科の梅原 提言分科会主査から資料 8 に基づき、提言案の骨子について説明、新美会長から午前の工学部長会議での議論の紹介があり、意見交換が行われた。高松議長から、本日の意見を参考に分科会を中心に引き続き提言の作成作業を進めるので、各会員から意見・コメントがあれば事務局あてに意見をいただくよう依頼があった。

(3) 工学系教育改革への今後の対応について（資料 9）

新美会長から、これまでの文部科学省との意見交換会及び午前中の八大学工学部長会

議での議論の内容を踏まえ、資料 9 及びこの後行われる文部科学省講演の資料に基づき、平成 30 年度概算要求事項「大学における工学系教育改革促進事業」等に関する説明があった。また、午前の工学部長会議において、この工学系教育改革案は「出来る規程」であり「規制緩和」であると認識するのが良いという議論があった旨の報告があった。なお、工学系教育改革に関する文部科学省等での議論及び本改革案の詳細については、この後行なわれる文部科学省の松尾大臣官房審議官による講演において質疑応答できるとの紹介があった。

3. 講演会

- (1) 英進館株式会社の筒井 俊英 代表取締役社長より、「理工系人材のための高大接続（塾の視点から）」と題して講演があり、活発な質疑応答が行われた。
- (2) 文部科学省の松尾 泰樹 大臣官房審議官より「工学系教育改革について」と題して講演があり、活発な質疑応答が行われた。

4. 今後の予定について

- (1) 次回の常設会議について、幹事校の東大・三谷大学院新領域創成科学研究科長から、来年 4 月 20 日（金）に KKR ホテル東京にて開催予定とのアナウンスがあった。
- (2) 次々回の常設会議について、幹事校の阪大・田中工学研究科長より、来年 9 月 28 日（金）にホテルメルパルク大阪にて開催予定である旨アナウンスがあった。

以上をもって第 134 回八大学工学関連研究科長等会議を終了し、高松議長が閉会を宣言し、事務局長よりこのあと会場を移して情報交換会が開催される旨の案内があった。

以上